

避難時のことろえ

避難時の注意事項

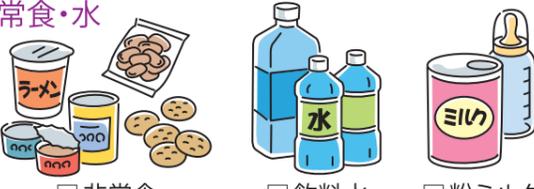
災害時の避難は、普段通っている道でも、慎重に歩きましょう。また、頭上からの落下物や飛来物にも十分注意しましょう。いざという時あわてないためにも、どこへの道を通って避難するのかを普段から家族や隣近所で話し合っておきましょう。

避難は・・・
「落ち着いて」
「安全に」

 避難場所や避難路の確認をしましょう。	 非常持出品は少なくしましょう。	 たれ下がった電線にさわらないようにしましょう。	 火の始末、戸締りを忘れずにしましょう。
 気象・地震等の情報に注意しましょう。	 市役所や防災・災害関連の広報に目を配りましょう。	 防災訓練に参加しましょう。	 お年寄りや子供が安全に避難できるように気を配りましょう。

非常持ち出し品

日頃から非常時に備え、持ち出し品(各家庭ごと2~3日分)を用意しておきましょう。乳幼児・子ども・高齢者等、各人の状況に応じた備えもしておきましょう。

非常食・水  <input type="checkbox"/> 非常食 <input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 粉ミルク	道具類  <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(防災無線) <input type="checkbox"/> 電池 <input type="checkbox"/> ローソク <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> マッチ(ライター) <input type="checkbox"/> せっけん <input type="checkbox"/> ナイフ(かん切り) <input type="checkbox"/> ちり紙 <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> ロープ
衣類  <input type="checkbox"/> くつ下 <input type="checkbox"/> 下着 <input type="checkbox"/> 手ぶくろ <input type="checkbox"/> 毛布・タオル <input type="checkbox"/> 携帯レインコート	貴重品  <input type="checkbox"/> 身分証明書 <input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 預金通帳・印鑑
安全具・緊急薬品  <input type="checkbox"/> ヘルメット(防災ずきん) <input type="checkbox"/> 救急薬品 <input type="checkbox"/> 消毒薬 <input type="checkbox"/> バンソウコウ <input type="checkbox"/> 三角巾 <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> きず薬 <input type="checkbox"/> 包帯 <input type="checkbox"/> ガーゼ <input type="checkbox"/> 目薬 <input type="checkbox"/> 湿布薬 <input type="checkbox"/> 胃腸薬	
各人の状況に応じた備え(例) アレルギー 対応した食品、常備薬等 乳幼児 母子手帳、哺乳瓶、離乳食等 高齢者 常備薬、流動食、介護用品等	

各地域での備え

自主防災組織の活用

茅野市全域が大きな災害に見舞われた場合、すべての地域で同時に救助や消火が必要となります。

しかし、消防や警察などが、道路寸断や大規模な火災などにより行く手をはばまれ、ただちにみなさんの元に行くことができるとは限りません。

そこで、消防や警察がかけつけるまでの間、消火や被災者の救助、安全な避難、食料・飲料水の確保など、地域に住むみなさんが協力をして自分の身を守る組織が、自主防災組織です。



自主防災組織をもっと機能させるために

自主防災組織をもっと機能させるためには、防災訓練などの活動に積極的に取り組むことが大切です。若い世代も含めた幅広い参加を呼びかけ、自主防災組織をより活発に活動させるための方法を考えましょう。

- もし災害が起こったらどうなるか繰り返し考えましょう
 - ・災害が起きたとき、地域がどうなるか想像してみましょう。
 - ・必要になること・必要になるもの・役立つものを考えてみましょう。
 - ・役員・運営委員以外からもアイデアを募り、積極的に取り入れましょう。
- 幅広いコミュニケーションを大切にしましょう
 - ・日ごろからの近所づきあいをしましょう。
 - ・地域づくり・まちづくり活動をしましょう。
 - ・地域のお祭りや学校の運動会に参加しましょう。
- 協同(コラボレーション)を考えましょう
 - ・避難所となる学校、災害時に役立つ資機材をもつ事業所と協同しましょう。
 - ・近隣の自主防災組織と協同しましょう。

地域内での助け合い

災害が発生したら、お互いに助け合いながら避難しましょう。特に、災害時に自力で避難することが困難な要配慮者の方は、早めの避難が必要です。近所のお年寄りなどの避難に協力しましょう。



★要配慮者とは…

必要な情報を迅速かつ的確に把握し、災害から自らを守るため安全な場所に避難するなどの災害時の一連の行動をとるのに支援を要する人々です。

身体障害者や傷病者をはじめ、理解力や判断力をもたない乳幼児、体力的な衰えのある高齢者、外国人などをいいます。

